

# 2008年3月期 決算説明資料



ヴァンキュラム ジャパン株式会社

**JASDAQ**

Listed Company 3784

# 目次

---

1. 経営トピックス
2. 営業トピックス
3. 決算の状況【連結】
4. 中期経営計画の見直しについて
5. 2009年3月期 業績予想【連結・個別】

# 1. 経営トピックス

- 1991年 2月 : 株式会社マイカル 情報システム部が分離独立、情報システム子会社として株式会社マイカルシステムズを設立
- 1992年 4月 : システム運用パッケージ「AUTO/400」の発売を開始
- 1997年 7月 : オープンPOSパッケージ「ANY-CUBE」の発売を開始
- 2000年11月 : プライバシーマークの認定を取得
- 2002年 3月 : 富士ソフト株式会社の100%出資子会社となり、  
商号をヴィンキュラム ジャパン株式会社に変更
- 2003年 4月 : 顧客管理パッケージ「Satisfy」の発売を開始
- 2005年 3月 : ISMSの認証を取得
- 2005年12月 : ジャスダック証券取引所に上場
- 2006年 4月 : 商品管理パッケージ「MDware」の発売を開始
- 2006年 5月 : 社内ベンチャー制度による子会社「株式会社4U Applications」設立
- 2006年 6月 : CMMIレベル3を達成(ストアシステム開発領域)
- 2006年 8月 : アパレル(小売業)向け価格最適化ソリューション  
「Optiboard(オプティボード)」の発売を開始
- 2007年 3月 : 中期経営計画(2007-2009)を発表
- 2007年 4月 : MIJS(メイドインジャパンソフトウェアコンソーシアム)に加盟
- 2007年10月 : アジェントリクスと戦略的業務提携  
次世代プロダクト開発室(現次世代プロダクト開発センター)の新設
- 2008年 5月 : 中期経営計画の見直しを発表
- 2008年 6月 : 中国 杭州駐在員事務所開設(予定)

## 2. 営業トピックス

### ◆アウトソーシング事業

#### 第2四半期

- 大手総合小売業グループ向け 給与システムアウトソーシング
- 大手ドラッグストア向け POSセンターサーバーアウトソーシング
- 大手シネコン向け 劇場システム保守

#### 第3四半期

- 大手総合小売業グループ向け EDI案件受注

### ◆プロダクト事業

#### 1. 流通業向けMD基幹システム「MDware」 自動発注他

#### 第3四半期

- 首都圏大手食品スーパー 導入展開
- 大手小売業グループ食品スーパー 受注
- 関西大手スーパー 受注
- 関西大手GMS 受注
- 大手ドラッグストアグループ 内示

#### 第4四半期

- 首都圏大手スーパー MD基幹システム受注



## 2. 営業トピックス

### 2. POSパッケージ「ANY-CUBE」

#### 第2四半期

- 大手ドラッグストア、大手アパレル専門店向け等

#### 第3四半期～

- 大手ショッピングモール向け受注
- 大手ドラッグストアグループ向け受注
- 北陸ドラッグストア(セルフチェックアウトシステム) 導入

#### 第4四半期

- テーマパーク向け導入等



ANY-CUBE<sup>®</sup> SC  
POS for the Next Value

ANY-CUBE<sup>®</sup> ST  
POS for the Next Value

### 3. CRMパッケージ「Satisfia」

#### 第4四半期～

- 西日本大手GMS 次期ポイントシステム、顧客管理システム内定

### 4. IBM System i 向け統合運用パッケージ「AUTO/400シリーズ」

- 業種、業態を問わず順調に増加(導入企業数:800社以上)

# 3. 決算の状況【連結】

### 3. 決算の状況 業績の概況

#### ◆決算のポイント

●売上高は前年値及び計画値を達成

●段階利益は前年値を下回るも、計画値は達成

(単位:百万円, %)		2008年3月期			2007年3月		
		売上比	前年比	計画比		売上比	
売上高		13,708	—	112.1	103.1	12,229	—
売上総利益		2,400	17.5	97.9	101.0	2,452	20.1
営業利益		795	5.8	84.6	102.7	940	7.7
経常利益		785	5.7	89.7	106.1	875	7.2
当期純利益		444	3.2	95.9	105.9	463	3.8
1株当たり 当期純利益	円	14,120.53	—	95.9	—	14,718.30	—
株主資本当期純利益率 (ROE)	%	12.3	—	—	—	14.1	—

### 3. 決算の状況 業績変動要因

#### ◆売上高変動要因(前年比較)・・・【1,479百万円増加】

##### <増加要因>

##### ①ハードウェア販売サービス事業・・・【1,852百万円増加】

- ・大手小売業向けIT統合大型案件の受注

##### ②その他事業・・・【327百万円増加】

- ・店舗システム導入展開サービス案件(セルフレジ等)の増加
- ・主要顧客向け付帯サービス案件の増加

##### ③プロダクト事業・・・【137百万円増加】

- ・POSパッケージ「ANY-CUBE」(276百万円増加)  
大型案件(大手ドラッグストア、大手アパレル、ショッピングセンター、  
テーマパーク向け等)による増加
- ・EDIパッケージ「Contact」(57百万円増加)
- ・システム自動運用パッケージ「AUTO/400シリーズ」(45百万円増加)



### 3. 決算の状況 業績変動要因

#### ◆売上高変動要因(前年比較)・・・【1,479百万円増加】

#### ④ソリューション事業(ソフト開発)・・・【49百万円増加】

- ・人事システム分野 (267百万円増加)  
大手総合小売業グループ向け案件増加
- ・流通、サービス業向け基幹システム分野(95百万円減少)  
大手ドラッグストア向け案件運用フェーズに移行による減少
- ・クレジットカードシステム分野 (105百万円減少)  
主要顧客向け受注減少  
プロジェクトマネジメントのできる要員不足による機会損失

#### <減少要因>

#### ①アウトソーシング事業(運用、ヘルプデスク等)・・・【886百万円減少】

- ・流通系クレジット会社向け運用業務の終了による減少  
(1,229百万円減少)
- ・新規アウトソーシング案件のスタートによる増加(305百万円増加)

### 3. 決算の状況 業績変動要因

#### ◆営業利益変動要因(前年比較)・・・【144百万円減少】

##### <増加要因>

- ①プロダクト事業・・・【売上総利益 288百万円増加】
  - ・不採算案件の減少(プロジェクトマネジメント力の強化)

##### <減少要因>

- ①アウトソーシング事業・・・【売上総利益 211百万円減少】
  - ・流通系クレジット会社向け運用業務の終了による減少
- ②ソリューション事業・・・【売上総利益 80百万円の減少】
  - ・顧客要望の高度化等
- ③その他事業・・・【売上総利益 39百万円減少】
  - ・前期の高利益率案件の減少
- ④販売費及び一般管理費の増加・・・【費用 93百万円増加】
  - ・J-SOX対応等の管理体制強化による人件費等の増加
  - ・営業展開強化による人件費等の増加

### 3. 決算の状況 セグメント別の状況

(単位:百万円, %)

		2008年3月期			2007年3月期		
		※比率	前年比	計画比		※比率	
アウトソーシング 事業	売上高	5,064	36.9	85.1	101.1	5,951	48.7
	売上総利益	1,201	23.7	85.0	104.9	1,413	23.8
	営業利益	875	17.3	82.1	104.9	1,065	17.9
ソリューション 事業	売上高	2,989	21.8	101.7	94.6	2,940	24.0
	売上総利益	520	17.4	86.5	90.0	600	20.4
	営業利益	298	10.0	72.0	84.6	414	14.1
プロダクト事業	売上高	1,379	10.1	111.1	102.2	1,242	10.2
	売上総利益	374	27.1	433.4	84.5	86	7.0
	営業利益	186	13.5	—	69.8	△102	—
ハードウェア 販売サービス事業	売上高	3,116	22.7	246.6	111.7	1,263	10.3
	売上総利益	109	3.5	94.2	137.1	116	9.2
	営業利益	5	0.2	15.9	—	37	3.0
その他事業	売上高	1,158	8.5	139.3	116.8	831	6.8
	売上総利益	195	16.9	83.3	149.6	235	28.3
	営業利益	134	11.6	64.8	188.4	207	25.0

※比率…売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

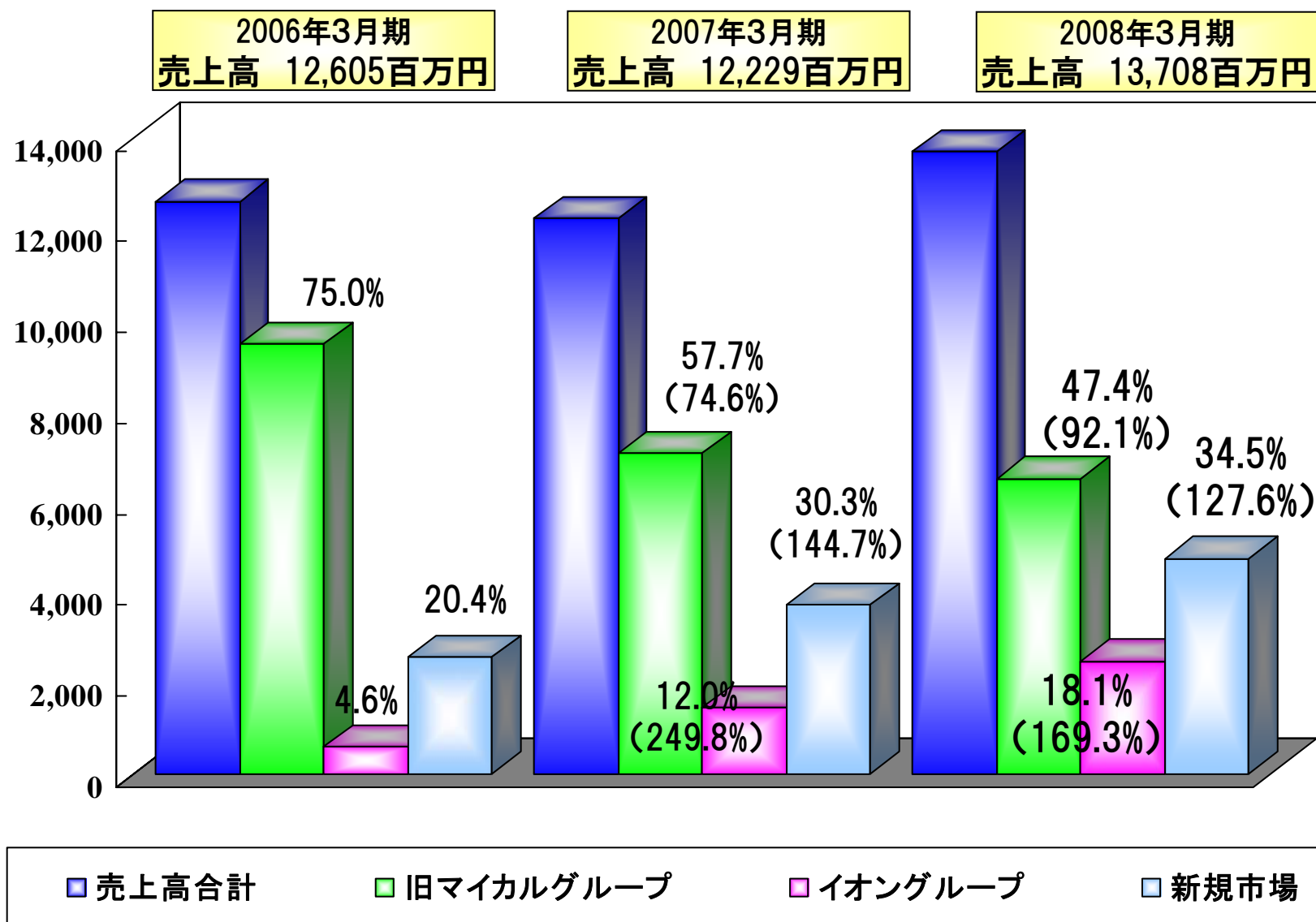
# 参考. セグメントの内容

## 流通・サービス業向け総合情報サービス事業の展開

アウトソーシング事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ システム運用・管理サービス</li><li>・ ソフトウェア保守、ヘルプデスクサービス</li><li>・ ASPサービス</li></ul>	売上構成比 36.9%
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 流通、サービス業基幹システムの開発</li><li>・ クレジットカードシステムの開発</li><li>・ Webシステムの開発</li></ul>	売上構成比 21.8%
プロダクト事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 流通、サービス業向けパッケージの開発・販売</li><li>・ システム運用管理パッケージの開発・販売</li></ul>	売上構成比 10.1%
ハードウェア販売 サービス事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ハードウェア等の販売</li></ul>	売上構成比 22.7%
その他事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 店舗システム導入展開サービス</li><li>・ その他付帯サービス</li></ul>	売上構成比 8.5%

(売上構成比は2008年3月期)

### 3. 決算の状況 顧客別の売上高構成比推移



※2006年3月期 単体の数値を記載しております。

(カッコ内は売上前年比)

### 3. 決算の状況 財政状態(前期末比較)

【貸借対照表】

(単位:百万円)

区分	2008年3月期 第3四半期末		2007年3月期 末時点
		構成比	
流動資産	6,652	85.4	4,481
固定資産	1,132	14.6	1,295
(有形固定資産)	200	2.6	221
(無形固定資産)	672	8.7	784
(投資その他の資産)	259	3.3	289
資産合計	7,785	100.0	5,777
流動負債	3,886	49.9	2,185
固定負債	111	1.4	135
負債合計	3,997	51.3	2,320
株主資本	3,787	48.7	3,457
負債・資本 合計	7,785	100.0	5,777

流動資産

- ・現預金の増加(623百万円)
- ・IT統合案件による売掛金の増加(1,611百万円)

流動負債

- ・IT統合案件による買掛金の増加(1,842百万円)

固定負債

- ・役員退職慰労金の減少(▲22百万円)

株主資本

- ・当期純利益の計上(444百万円)
- ・利益処分による減少(▲113百万円)

### 3. 決算の状況 キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

税引前当期純利益	753	
減価償却費	423	
売上債権の増加額	△ 1,631	・下期に実施したIT統合大型案件による 売掛金の増加
棚卸資産の減少額	103	
仕入債務の増加額	1,842	・下期に実施したIT統合大型案件による 買掛金の増加
その他	△78	
小計	1,412	
法人税等の支払額等	△ 292	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,120	
有形固定資産の取得による支出	△ 54	
無形固定資産の取得による支出	△ 318	・パッケージソフトウェア製品の開発等
その他	△ 12	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 385	
配当金の支払額	△ 110	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 110	
現金及び現金同等物期首残高	1,909	
現金及び現金同等物期末残高	2,533	

### 3. 決算の状況 主要な経営指標の状況

当社の目標とする経営指標

- ・株主資本比率 50%以上の維持
- ・(ROA)総資産経常利益率 20%以上(通期)

	単位	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期
株主資本比率	%	48.6	59.8	48.6
ROA(総資産経常利益率)	%	15.2	14.3	11.6
(売上高経常利益率)	%	6.9	7.2	5.7
(総資産回転率)	回転	2.20	2.00	2.02
ROE(株主資本当期純利益率)	%	23.9	14.1	12.3
流動比率	%	155.5	205.1	171.2
当座比率	%	133.1	166.0	151.4
固定比率	%	49.5	37.5	29.9
借入金依存度	%	1.6	—	—

※2006年3月期は、単体の数値を記載しております。



# 参 考 決算の状況【個別】

### 3. 決算の状況（参考）個別業績の概況

(単位:百万円, %)		2008年3月期			2007年3月期		
		売上比	前年比	計画比		売上比	
売上高		13,709	—	112.1	103.1	12,228	—
売上総利益		2,407	17.6	98.1	101.0	2,453	20.1
営業利益		820	6.0	86.0	101.9	954	7.8
経常利益		809	5.9	91.0	105.2	890	7.3
当期純利益		467	3.4	98.0	105.0	476	3.9
1株当たり 当期純利益	円	14,832.86	—	98.0	—	15,136.23	—
株主資本当期純利益率 (ROE)	%	12.8	—	—	—	14.5	—

### 3. 決算の状況（参考）個別事業別の状況

(単位:百万円, %)

		2008年3月期			2007年3月期		
		※比率	前年比	計画比		※比率	
アウトソーシング 事業	売上高	5,065	37.0	85.1	101.1	5,952	48.7
	売上総利益	1,201	23.7	85.0	104.8	1,413	23.8
ソリューション 事業	売上高	2,989	21.8	101.7	94.6	2,940	24.0
	売上総利益	520	17.4	86.5	90.0	600	20.4
プロダクト事業	売上高	1,379	10.1	111.2	102.3	1,240	10.1
	売上総利益	379	27.5	436.0	85.0	87	7.0
ハードウェア 販売サービス事業	売上高	3,116	22.7	246.6	111.7	1,263	10.3
	売上総利益	109	3.5	94.2	137.1	116	9.2
その他事業	売上高	1,158	8.5	139.3	116.8	831	6.8
	売上総利益	195	16.9	83.3	149.6	235	28.3

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益は利益率を表示しております。

## 4. 中期経営計画の見直しについて

## 4. 中期経営計画の見直しについて

### 当社を取り巻く流通サービス業における市場環境の変化

#### ■2007年度

(一)流通系クレジット会社 アウトソーシング案件の終了

#### ■2008年度-2009年度

##### 大手総合小売業グループのIT戦略により

(一)大手量販店向け アウトソーシング案件の段階的な減少

(+)大手総合小売業グループ向け ITシステム統合案件需要

(+)流通サービス業の業界再編によるITシステム統合案件の需要

・ドラッグ業界、クレジットカード業界

(+)流通サービス業におけるシステムリプレイス需要

(+)人手不足に対応するソリューション需要

## 4. 中期経営計画の見直しについて

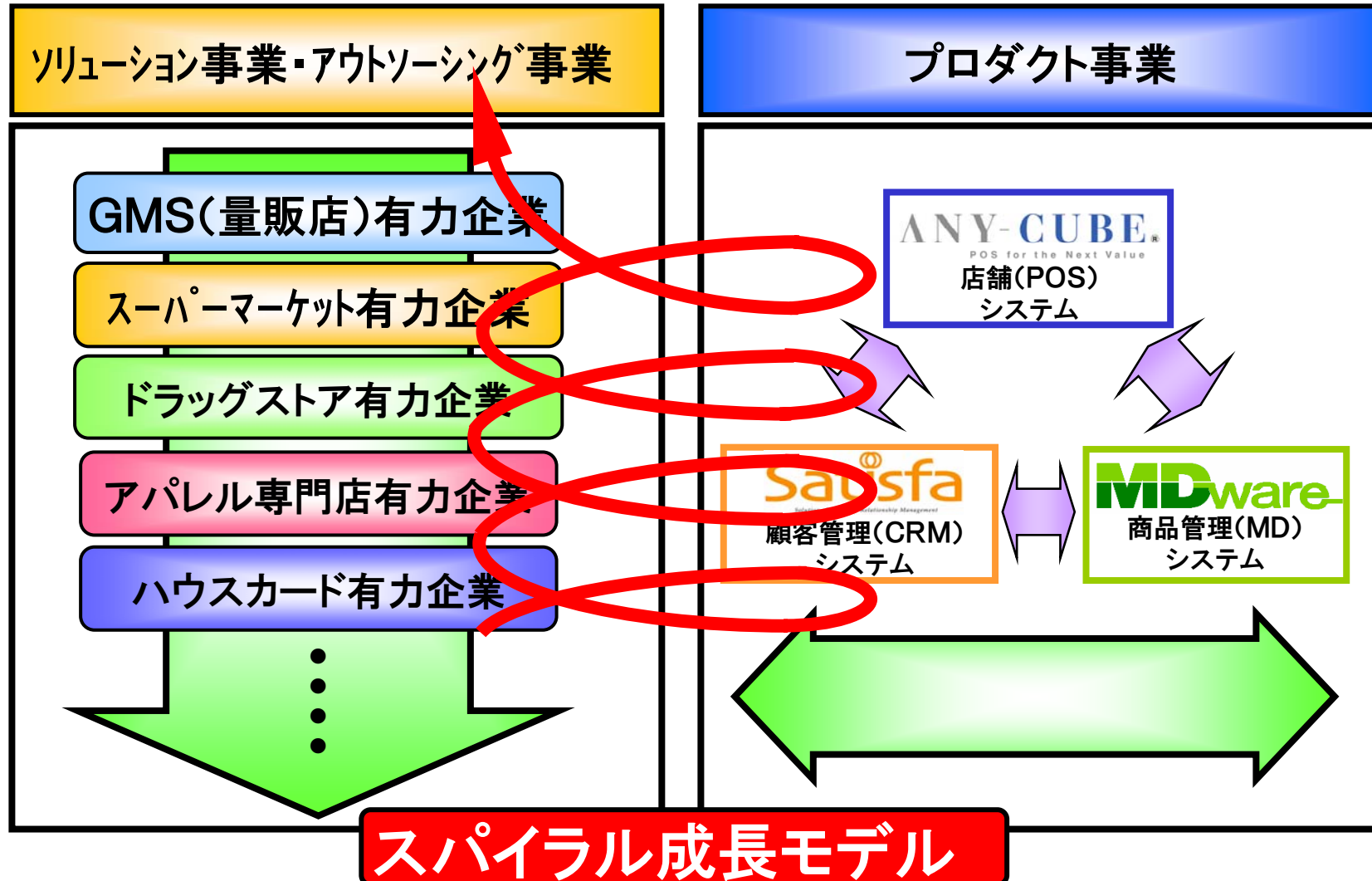
---

### 中期基本方針(変更ございません)

- ・付加価値を高め価格競争にまきこまれない  
マーケットを創造する
- ・超ユーザー系のDNAを活かした  
活力あるスペシャリスト集団をめざす




# 4. 中期経営計画の見直しについて

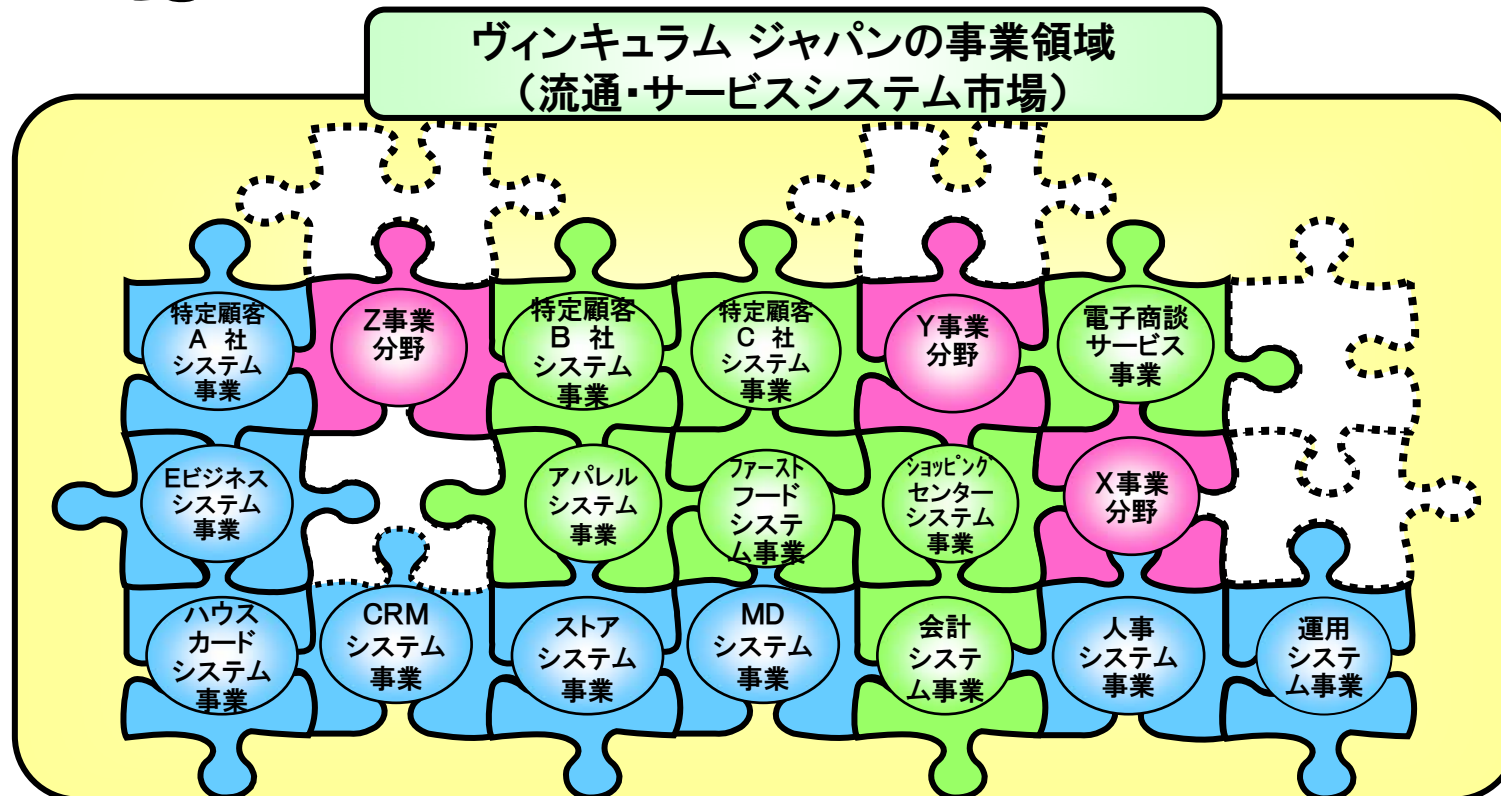
基本戦略：有力企業の開拓・深耕とプロダクトラインの拡充による  
ビジネスモデル確立(変更ございません)



## 4. 中期経営計画の見直しについて

基本戦略. 独自の事業領域でNo.1ビジネスユニットの集合体企業グループをめざす(変更ございません)

-  既存ビジネスユニット
-  新規ビジネスユニット
-  戦略的業務提携、資本参加・子会社化、共同事業





## 4. 中期経営計画の見直しについて

基本戦略: お客様に信頼される組織力・人材力の確立  
(変更ございません)



## 4. 中期経営計画の見直しについて

### 事業(市場)構造の変革

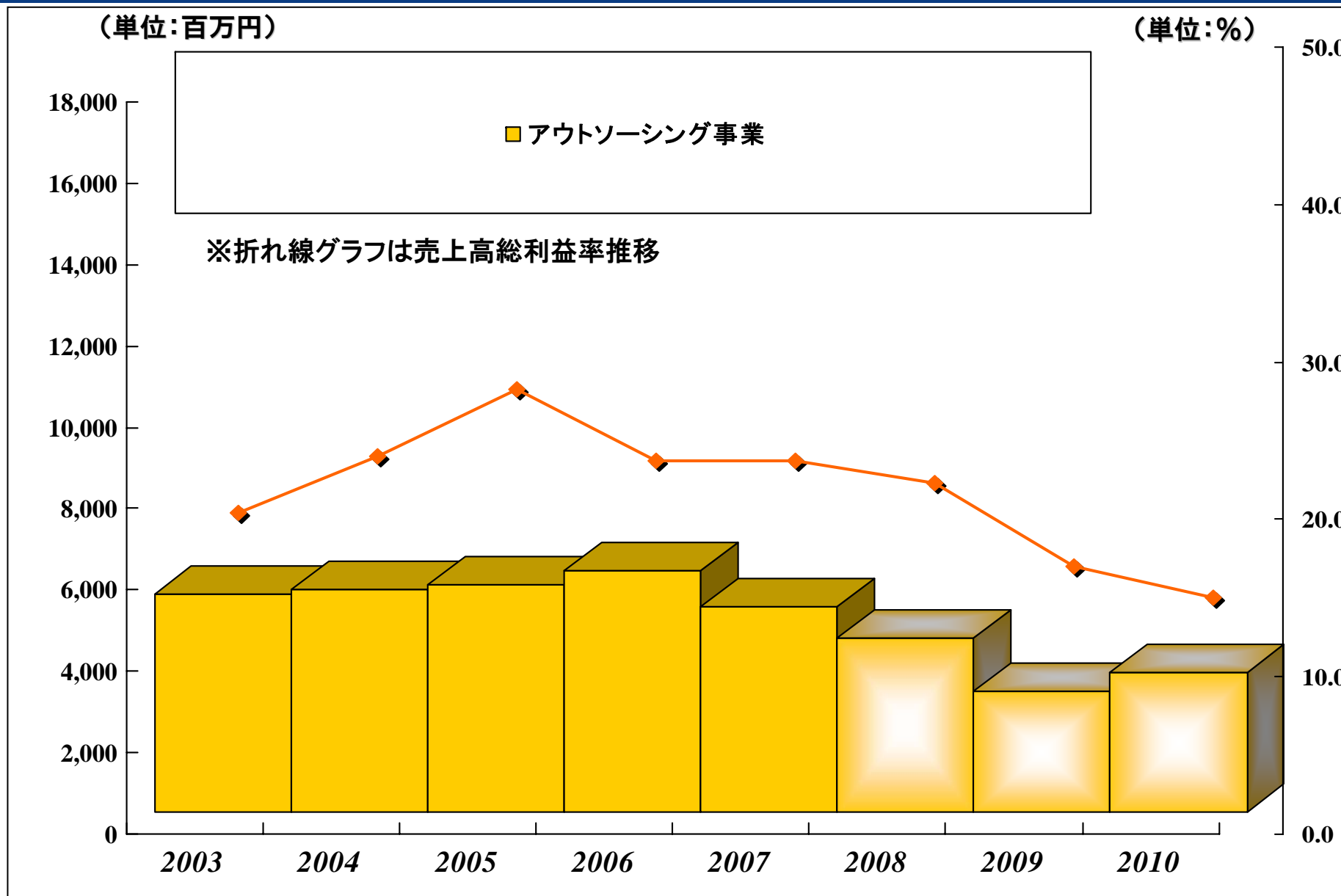
- ① 大手総合小売業グループへの一層の深耕  
とサービス範囲の拡大
- ② ドラッグ業界のより一層の深耕
- ③ 新規顧客の拡大と特定顧客化の一層の強化
- ④ 需要の旺盛なクレジットカード分野の拡大

## 4. 中期経営計画の見直しについて

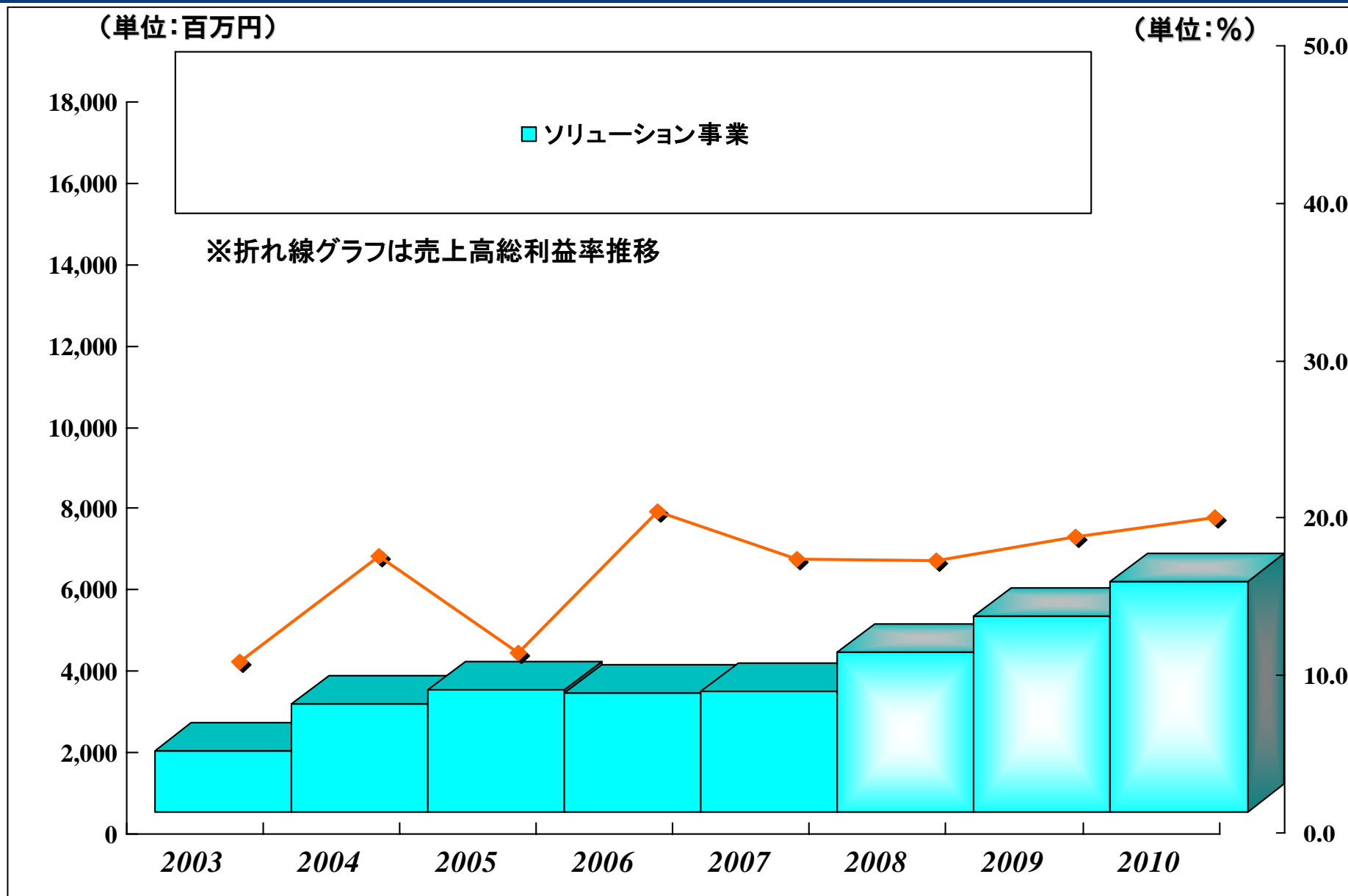
### 収益構造の変革

- ① プロダクトビジネスの安定的かつ高収益ビジネス  
モデルへの変革
- ② 不採算プロジェクトの撲滅
- ③ 開発・運用における生産性と品質の向上  
(体制見直し、国際認証基準の取得、中国オフショア開発)
- ④ 受注活動期間の短縮  
(営業構造改革：ソリューションとの連携強化)

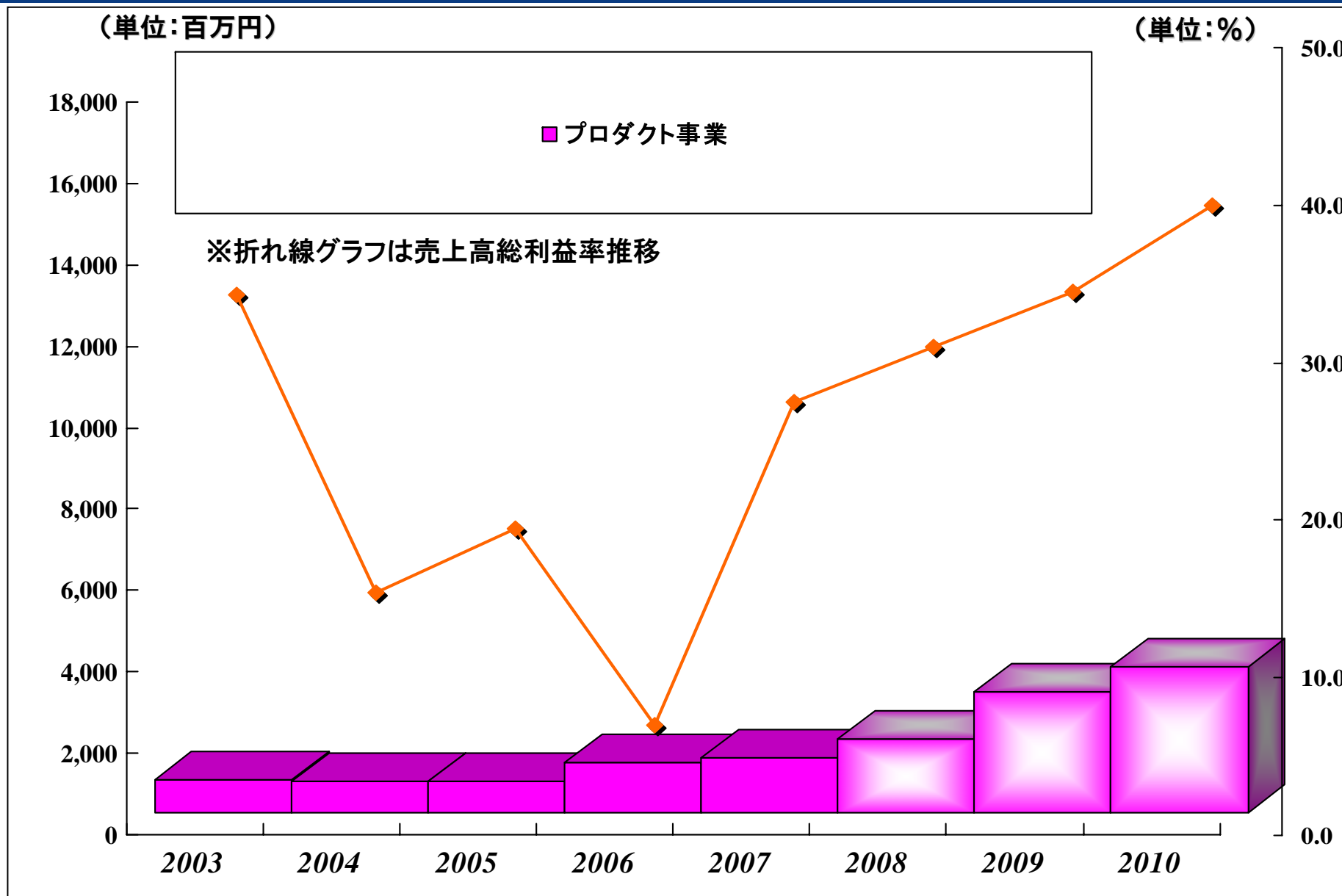
# 4. 中期経営計画の見直しについて



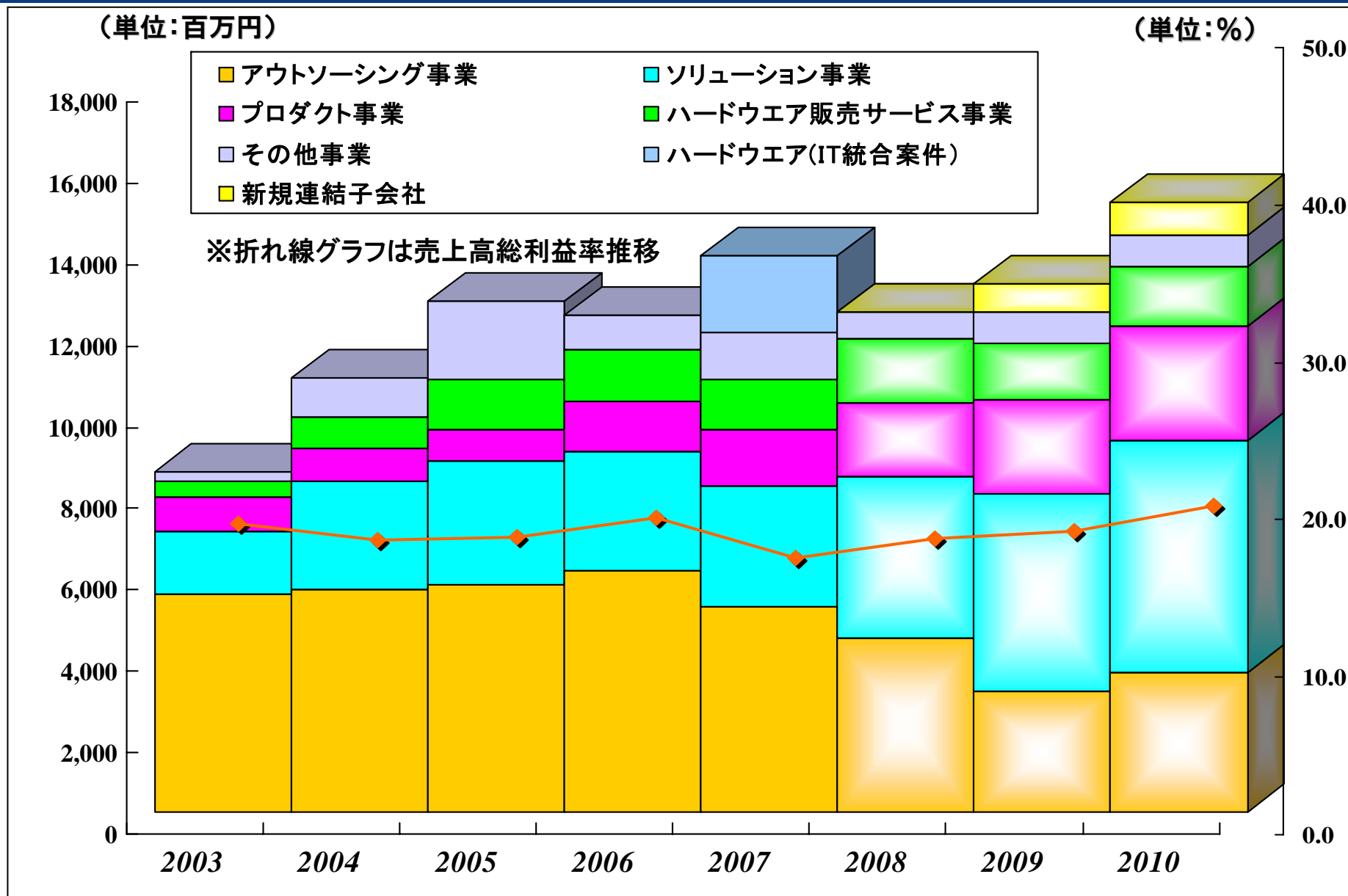
# 4. 中期経営計画の見直しについて



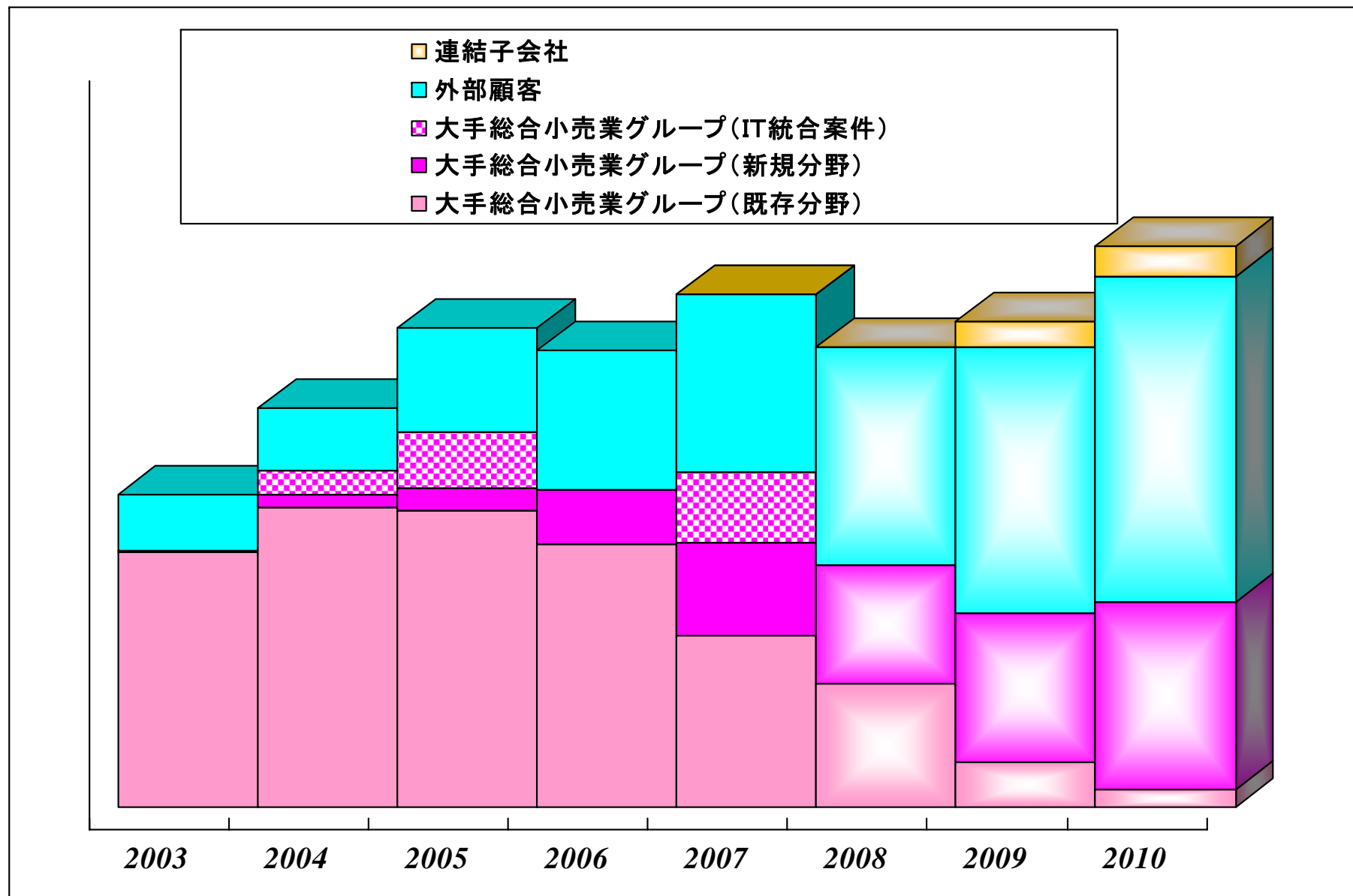
# 4. 中期経営計画の見直しについて



# 4. 中期経営計画の見直しについて



## 4. 中期経営計画の見直しについて





# 5. 2009年3月期業績予想

## 5. 2009年3月期 業績予想

### 業績予想のポイント

#### 売上高

- (+)大手総合小売業グループ、ドラッグ業界等の業界再編による  
IT統合案件需要の増加
- (+)人手不足に対応するソリューション需要の増加
- (-)大手量販店向け アウトソーシング案件の段階的な減少

#### 営業利益

- (+)大手総合小売業グループ、ドラッグ業界等の業界再編による  
IT統合案件需要の増加
- (+)中国におけるオフショア開発のスタート(下期より)
- (-)大手量販店向け アウトソーシング案件の段階的な減少
- (-)プロダクト事業における研究開発(1億80百万円)の実施

## 5. 2009年3月期業績予想 【連結】

(単位:百万円, %)  
※百万円未満切捨て

	通期予想			上期予想			下期予想		
		売上比	前年比		売上比	前年比		売上比	前年比
売上高	12,315	—	89.8	6,165	—	100.6	6,150	81.1	81.1
売上総利益	2,335	19.0	97.3	1,203	19.5	98.5	1,131	18.4	96.0
営業利益	533	4.3	67.0	285	4.6	69.8	248	4.0	64.0
経常利益	505	4.1	64.3	280	4.5	70.6	225	3.7	57.9
当期純利益	280	2.3	63.0	150	2.4	59.2	130	2.1	68.0

◆1株当たり当期純利益(通期)

2009年3月期予想 8,888.89円  
2008年3月期実績 14,120.53円

◆1株当たり配当金

普通配当 2,700円  
普通配当 3,600円

◆配当性向

30.4%  
25.5%

## 5. 2009年3月期業績予想【連結 セグメント別】

(単位:百万円, %)  
※百万円未満切捨て

		通期予想			上期予想			下期予想		
			比率	前年比		比率	前年比		比率	前年比
アウトソーシング 事業	売上高	4,293	34.8	84.8	2,561	41.6	102.8	1,731	28.2	67.3
	売上総利益	959	22.4	79.8	616	24.1	105.5	342	19.8	55.5
	営業利益	699	16.3	80.0	467	18.3	106.7	232	13.4	53.2
ソリューション 事業	売上高	3,740	30.4	125.1	1,826	29.6	106.7	1,914	31.1	149.9
	売上総利益	648	17.3	124.8	285	15.6	83.4	363	19.0	204.0
	営業利益	406	10.9	136.2	165	9.1	77.6	240	12.6	282.8
プロダクト事業	売上高	1,742	14.2	126.3	803	13.0	108.8	938	15.3	146.6
	売上総利益	558	32.1	149.3	234	29.1	107.6	324	34.6	207.1
	営業利益	192	11.0	103.1	63	7.9	50.2	128	13.7	215.4
ハードウェア 販売サービス 事業	売上高	1,910	15.5	61.3	666	10.8	98.4	1,244	20.2	51.0
	売上総利益	63	3.3	57.6	19	3.0	110.7	43	3.5	47.2
	営業利益	△9	—	—	△10	—	—	1	0.1	3.6
その他事業	売上高	627	5.1	54.2	306	5.0	60.9	321	5.2	49.0
	売上総利益	104	16.6	53.3	47	15.6	78.1	56	17.7	42.1
	営業利益	65	10.4	48.6	28	9.4	85.9	36	11.4	36.2

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

## 5. 2009年3月期業績予想【個別】

(単位:百万円, %)  
※百万円未満切捨て

	通期予想			上期予想			下期予想		
		売上比	前年比		売上比	前年比		売上比	前年比
売上高	12,300	—	89.7	6,155	—	100.5	6,145	—	81.0
売上総利益	2,311	18.8	96.0	1,195	19.4	97.6	1,116	18.2	94.4
営業利益	528	4.3	64.4	285	4.6	66.7	243	4.0	61.8
経常利益	500	4.1	61.7	280	4.5	67.3	220	3.6	55.8
当期純利益	275	2.2	58.9	150	2.4	55.4	125	2.0	63.6

### ◆1株当たり当期純利益(通期)

2009年3月期予想 8.730.16円

2008年3月期実績 14,832.86円

## 5. 2009年3月期業績予想【個別 事業別】

(単位:百万円, %)  
※百万円未満切捨て

		通期予想			上期予想			下期予想		
			比率	前年比		比率	前年比		比率	前年比
アウトソーシング 事業	売上高	4,293	35.0	84.7	2,561	41.6	102.7	1,731	28.2	67.3
	売上総利益	959	22.4	79.8	616	24.1	105.5	342	19.8	55.5
ソリューション 事業	売上高	3,740	30.4	125.1	1,826	29.7	106.7	1,914	31.2	149.9
	売上総利益	648	17.3	124.8	285	15.6	83.4	363	19.0	204.0
プロダクト事業	売上高	1,727	14.0	125.2	793	12.9	107.4	933	15.2	145.8
	売上総利益	535	31.0	141.0	225	28.4	103.1	309	33.2	192.3
ハードウェア 販売サービス 事業	売上高	1,910	15.5	61.3	666	10.8	98.4	1,244	20.2	51.0
	売上総利益	63	3.3	57.6	19	3.0	110.7	43	3.5	47.2
その他事業	売上高	627	5.1	54.2	306	5.0	60.9	321	5.2	49.0
	売上総利益	104	16.6	53.3	47	15.6	78.1	56	17.7	42.1

※比率…売上高は売上構成比、売上総利益は利益率を表示しております。

# 本資料お取り扱い上のご注意

---

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

ヴィンキュラム ジャパン株式会社  
管理部 財務IRグループ  
e-mail : [ir@mail.vinculum-japan.co.jp](mailto:ir@mail.vinculum-japan.co.jp)